
シュンとなつみの物語 バーチャルな恋 実話

りこりす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シュンとなつみの物語 バーチャルな恋 実話

【Zコード】

N7721C

【作者名】 りこりす

りこりす

【あらすじ】

ふたりの大学生がパソコンを通じて知り合った恋におちる。結末に「恋じ期待。

この物語は、突如始まり、お互に惹かれ合い、切なく、とてもロマンティック、そして短い物語です。まるで、今年の暑くて例年ない短い夏のようだ。・・・

出会い

あの日あの時、なつみはパソコンのゲームに夢中になっていた。シユンとの出会いが、ほんの5分、いや、1分でもずれていたなら、この物語は始まらなかつただろう。只、普通に挨拶し、たわいもない会話をしていたはずなのに、なつみの心の中で、*chemical reaction*（化学反応）を起こしてしまつたのだ。なつみは恋をした。不思議な、まるでファンタジーの世界にいるよう、とてもとても楽しかつた。そして同時にシユンもなつみに夢中になつていていた。

手に取るようになつみに分かつた。

苦悩

しかし、なつみは、分かつていたんだ。シユンも言つていたように、このバー・チャルな恋は長続きしないことを。シユンは愛する人と別れたばかり、なつみも同じだつた。でもシユンの方が遙かに心の傷は深かつた。なつみは自分などシユンの心の隙間に入り込めない事くらい分かつていて。それでもシユンは自分を犠牲にしてでも、全力でなつみに向き合つてくれた。なつみもシユンの負つた深い傷を、少しでも癒そうと必死だつた。どれだけのメールをしただろうか。どれだけのチャットをしただろうか。でもチャットが終われば残るのは虚しさだけ、東京と大阪。会いたいけど会えない。会つてはいけない。シユンの心の傷が深い事、会うことによりお互い、より深く傷つくことが怖かつたから。シユンがなつみに夢中になつた

ほんの短い日々、それは、別れた彼女への寂しさをかき消すための身代わりだったのか・・・なつみは

シユンを忘れようと、それこそシユンの身代わりになる人を見つけると、全力で走つてみた。友という友に声をかけ、男女問わず人を集め、夜通し語り合い、笑い合い懐しい会を企画した。そのメンバーで花火大会も企画した。でも、現実は甘くない。なつみの思い通りには

いかなかつた。この想いに幾度涙を流したことか。シユンはなつみに教えてくれた。1970年代の切ない名曲「22才の別れ」。そのフレーズが自分にダブると、なつみも聴いてみた

。聴くたびに涙が頬を伝つた。そして偶然「22才の別れ」をモチーフにした映画が公開された。シユンは東京で、なつみは大阪で、同じ日に映画を観に行つた。なつみは号泣した。帰つてパソコンを開くと、一足先に帰つたシユンからの着信メール。やはり男泣きたと・・・そして映画について語り合つた。でもシユンは言ったこの「22才の別れ」の曲で切ない思い出が一つになつてしまつた。そして一つの深い傷が一つの浅い傷になつたと。別れた彼女は現実、バーチャルの中にいるなつみは幻・・・何度言われたことか。でもなつみはシユンが好きだった。一生分の涙が枯れるほど泣いて泣いて泣けるほど・・・。シユンは本当に純粹な青年。なつみよりずっとずっと大人の考え方を持つている。お互い顔も知らないのに、パソコンの

チャットで知り合い、こんな恋にまで発展するなんて、なつみは予想だにしていなかつた。まだ元カノとの別れの傷が癒えていないシユンの心の中に入り込み無邪気に幸せを噛みしめていたなつみ。写メも送り、シユンの心をかき乱し、困らせているとも知らずに・・・。時には喧嘩をし、時には叱られ、時には笑い合い・・・もちろんバーチャルの世界の中で。なつみは本当に楽しく、シユンの考え方が大好きだつた。

別れ

夏の終わりと共に、シユンからメールで告げられた・・・もう・・・やめよ、・・・と。純粋なシユンにとつてなつみの存在をどう位置付けていいのかわからない。友達？恋人？それともただのメル友？でも所詮男と女、シユンにとつてどうしても恋愛対象として見てしまう。直接会えないのに、こんな中途半端な関係はシユンには無理だ・・・と。シユンは自分の写メを添付してくれていた。素敵だった。なつみの予想通りだった。丸一日泣き続けた。なつみは本当に初めて振られてしまったのだ。

未来

本当に短く、なつみにとつてショッパイラブストーリーは終わってしまった。なつみは当分立ち直れない。でも頑張る。今は羽が傷ついた小鳥でも、必ず飛んでいけるはず。真っ青な空に向かって羽ばたいていく。絶対に・・・。

一応物語はここで終わっている。でも本当の終焉はまだなんだ。いつの日か、シユンとなつみは日本のどこかですれ違うだろう。でもお互い気付かない。しかし一人とも幸せそうに笑っている。まっすぐ前を向いて歩いている。そして、すれ違う瞬間、一人だけの映像がスローモーションになるんだ、きっと。シユン、ありがとう、そして、さよなら。あなたのことは一生忘れません。涙をこらえて・・・なつみ。

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7721c/>

シュンとなつみの物語 バーチャルな恋 実話

2010年12月26日22時35分発行